

# Lynzo vol. 1

りんぞー Library for Your Networking ZOne

巻頭特集  
座談会 未知へのトビラ

解説  
特集  
コーナー 世界文学全集を読む

先生が選んだ  
この  
一冊 『古代インドの苦行と癒し』ケネス・G・ジスク 著 (梶田昭 訳)  
仏教学部長 藤堂 俊英先生

Lynzo  
名画座 『第三の男』



1 **巻頭特集** 座談会 未知へのトビラ

4 解説 「特集コーナー」 世界文学全集を読む

6 Lynzo 名画座 『第三の男』

9 先生が選んだこの一冊  
『古代インドの苦行と癒し』 藤堂俊英先生

10 さぶかる！  
ニーチェってなんで流行ってるの？

12 Popul lib お知らせ  
特集コーナー  
図書館を利用される方へ

13 HP 活用法

14 1階から始めよう、知的冒険の旅

16 イベント報告

20 開館カレンダー

21

# 探しものは、 なんですか？

みなさんは図書館にどんなイメージを持っていますか？  
図書館には、学生の好奇心をくすぐる未知なるトビラがたくさん隠されています。ただ、それを見つける方法を知っている人は少ないかもしれません。そこで今回、図書館広報誌の創刊を記念し、  
図書館長・谷口浩司先生（社会学部教授）と学生による対談を開催。  
文学部、社会学部、社会福祉学部の4名の学生に  
図書館についてのあれこれを語っていただきました。  
学生のみながどのように利用しているのか、どんなイメージを持っているのかを通して、  
図書館の魅力に迫っていききたいと思います。

## 図書館のイメージは勉強？

谷口先生 図書館では現在、学生のみんなが利用したくなる図書館づくりに取り組んでいます。

その1つが本誌で、学生の視点を重視して、みんなが読みたくするような広報誌を季刊で刊行することになりました。表紙もユーモアのある斬新なデザインを採用し、書籍や図書館情報をわかりやすく伝えるとともに、サブカルチャー的なコーナーなども企画しています。

この座談会では、みんなの意見を聞かせてもらうことで、「図書館が君たちにできること」を模索したいと思っています。

まずは、図書館にどのようなイメージを抱いているのかを聞かせてもらえかな。

小畔さん ● 4回生なので、図書館で卒論の資料を探したり、パソコンで資料を見ながら論文を書いたりすることが多いです。あと、他大学の図書館にある論文を取り寄せてもらおうとか。図書館は学問と切

# 未知へのトビラ

巻頭特集座談会



佛光大学図書館長  
社会学部公共政策学科教授  
谷口浩司先生

文学部人文学科  
小畔美咲さん

社会福祉学部  
社会福祉学科  
川口 優さん

社会学部公共政策学科  
宮脇崇裕さん

文学部人文学科  
荒川久海さん

## Whisper

本のささやき

「砂漠が美しいのは、どこかに井戸をかくしているからだよ」  
サン＝テグジュペリ 『星の王子さま』

フランス人の作家アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリの代表作。  
哀しさに包まれた独特の空気が魅力です。  
この言葉は、王子さまと「ぼく」が乗る飛行機が故障をして、  
砂漠で生死が危ぶまれる中、王子さまが言ったものです。  
「砂漠」は「人間」に、「井戸」は「清い心」に置き換えるのでしょうか？  
置き換えるとつまらないですね。

サン＝テグジュペリ  
1900年、誕生。1944年、  
偵察任務に出発したまま  
消息を絶つ。  
フランスの作家、操縦士。

### 上手な図書館活用法

**谷口先生** 研究個室をはじめ、君たちが知らない図書館の活用法があるかもしれないなあ。図書館を使っている「こうだったら良いのに」と思うことがたくさんあるんじゃないかな？

**小畔さん** 実は、検索システムがよく分からないんです。だから、資料を探すにも書籍が多すぎて探しづらいと思うこともあります。特に卒業論文に古い書籍が必要なのですが、そんな書籍を保管しているD層には私たち4回生は入れません。私たちに代わって書籍を探ってきてくれる職員さんにお世話になっていきます。

**谷口先生** 資料や書籍の検索については図書館で利用ガイダンスを定期的に行っているし、図書館の職員に聞いてもいいと思うよ。

**川口さん** 私は小説が好きなので、最近の話題作なんかを置いてもらえたら嬉しいなあと思っています。

**谷口先生** 図書館では、春と秋に「選書ツアー」をしています。これはツアー参加の学生と一緒に書店に行つて、学生目線で本を購入するイベントなんだけども。漫画や

来ることがあります。そんな時は本を読むでもなく人間観察したり、目的なく書架をぶらついたりしていますね。

**川口さん** 私は、ほとんど来たことがないです……。

**宮脇さん** そうなんだ。反対に、僕は日常的に図書館に来てるかも。居心地がいいというか、自分の居場所みたいなところを勝手に作ってしまつて(笑)。集中したい時は、研究個室を借りることもありますね。

**小畔さん** 研究個室って誰でも借りられるの!?

**宮脇さん** 予約が入ってなければ、当日、受付で申し出たら借りられますよ。

**小畔さん** 大学院生や先生しか借りられないと思つてました……。

実は、あまり来たことがありません。1回生なので資料を探す機会もなかったので、図書館は、ちょっと敷居が高いように感じています。

**谷口先生** なるほど……。やっぱり勉強や授業や卒業論文関係で使うことが多いようだね。私としては川口さんが言うように小説を読んだり、荒川さんのように思索にふける場所であつてほしいのだけど。では、図書館に来るタイミングは勉強する時が多いのかな？

**小畔さん** 1回生の時は、授業の合間などによく利用していました。でも、サークルに入り友達が増えてくると、図書館で時間をつぶすことはなくなつて、今では卒業論文を書く時くらいですね。

**荒川さん** 私は一人になりたい時とか、授業がポツと空いた時とかに



り離せないというイメージです。

**荒川さん** 高校の図書室では、宿題をしたり勉強をしたりという場だったように記憶しています。でも、大学の図書館は、本を読んだり、いろいろなことを通して自分の世界を広げたりする場所かなあ……と。

**宮脇さん** 僕は大学に入つてから図書館をよく利用するようになったんですが、やっぱり資料を探したり、読んだりが多いです。目的の資料まで行き着くのに時間はかかりますが、そこへたどり着いたらその付近に関連資料が豊富にあつて、助かります。

**川口さん** 高校時代には、小説なんかを図書館でよく読んでいました。でも、大学に入つてからは、自分が読みたいような本を探そうにも広くて、書籍の量も多くて、

娯楽雑誌なんかは許可できないが、教養に関わるものなら、自分では購入できない高額な書籍をその場でリクエストすることもできるよ。

**宮脇さん** それは面白そうですね！僕も参加してみたいです。僕は社会学部なので、どうしても最新の本や情報が必要になってきます。図書館で見当たらない書籍や情報はWebで調べるしかないのですが、目が疲れたり、情報の裏付け作業が大変なことがあります。

**谷口先生** 膨大な量の書籍が毎月入ってきますが、最新の本は1階に新着コーナーを設置しているのので、実物を見てすぐに貸出しできるよ。

### 情報のWeb知恵を育む書籍

**谷口先生** 以前は、何かを調べるといえば書籍でしたが、最近はWebや電子書籍などいろいろな方法が生まれてきましたね。君たちは電子書籍やWebをどう活用しているのかな？

**宮脇さん** やっぱWebのメリットは即時性とピンポイントの検索だと思えます。でも、裏付けのな

い情報なんかも溢れているので、どの情報をピックアップするかに気を遣います。

**荒川さん** 電子書籍もiPad発売以降、すごく話題になってますよね。一度は使つてみたいと思いますが、論文みたいに長い文章を液晶で読むのはつらいかも。

**小畔さん** 卒業論文を書く時は、Webでは全然ヒットしない古典や資料を使うことが多いので、基本的に紙の書籍を活用しています。

**川口さん** Webの利用は、ブログを読んだり、音楽をダウンロードしたりが中心です。辞書機能に関しては電子辞書よりも紙の辞書の方が好きです。単語が見つかったときの達成感が言葉にできないです。

**荒川さん** それ、わかる！調べてる間に、違う単語をついつい見ちゃうのが楽しくて。

**宮脇さん** なんとなくWebは知識というより情報を得るものって感じかもしれない。

**谷口先生** 確かに言い得ているかもしれないな。深く考える時には、本を何度も読み返したり、本に書き込んだりすることもあつたらう。電子媒体では、それらをするには



不向きなように感じるね。

私は紙の書籍が好きで、何度も読んだ本の使い込まれた風合いや、新聞を開いた時のインクの香りが気に入っているよ。

**宮脇さん** 分厚い書籍を読み終えた時には「読んだ！」という実感がわきます。本の重さが得られた知識の重さって感じがして。電子書籍では、それは感じられなさそうですね。

**荒川さん** 古い本はまだデジタル化しないでしょうから、古書は今後、より大切になるかもしれないですね。崩れそうな本とか巻物とかは、もしかしたらデジタル化して見られる方が良いのかも。

**小畔さん** 図書館で本を探している本に出合えると、運命の出合い、

だって嬉しくなります。

**川口さん** 昔の本を読んでいると、私が知らなかったことに出合い、新鮮な感動を覚えます。昔の人も私たちと同じことで悩んでいたことや、どんな結論を出したのかを知ることが、すごく為になります。

**谷口先生** なるほど。みなさんの意見を聞いてみると「不易流行」という言葉を思い起こします。技術革新が進むにつれ出版の形態や媒体は変化していくでしょう。けれども、古いものが新しいものに劣るわけではない。書籍という、古今東西の知識の結晶は、無くなることはなく、使用方法が多様化していくだけだと思います。そうしたものを次世代に残すのも図書館の使命なのかもしれないね。

# 世界文学全集を 読む

図書館の1階カウンター横に設けられた「特集コーナー」では、毎月テーマを設定し、そのテーマに関連する図書を展示・貸出しています。

11月のテーマは「世界文学全集を読む」で、当館が所蔵している文学全集を展示する予定です。そこで今回は、文学部英米学科教授の野間正二先生にお話をうかがいました。

——『世界文学全集』というと、若い世代には余りなじみがないのかもしれませんが、昭和30年代から40年代頃にたくさん出版されていますね。何か理由があったのでしょうか。

**昭** 昭和30年代から40年代という期の中で、大学闘争や田中角栄が絶頂の時代でした。日本が右肩上がり、人々の暮らしは戦後の困窮から脱却し、将来に希望を

抱けた時代ともいえますね。多くの人々が衣食が足りた次のステップとして、「教養を身につけたい」と望みはじめ、その第一歩として『世界文学全集』を買って求めたいと思います。

もう一つは、豊かになって生活スタイルが激変したので、家を新築する人が多くなり、インテリアという一面もありますね。どこの家に行っても、なんらかの文学全集が置いてあった記憶があります。需要が高かったもので、さまざまな出版社から競うように発行されましたよね。どれも、個性を競っていて、それぞれに良い全集ですよ。

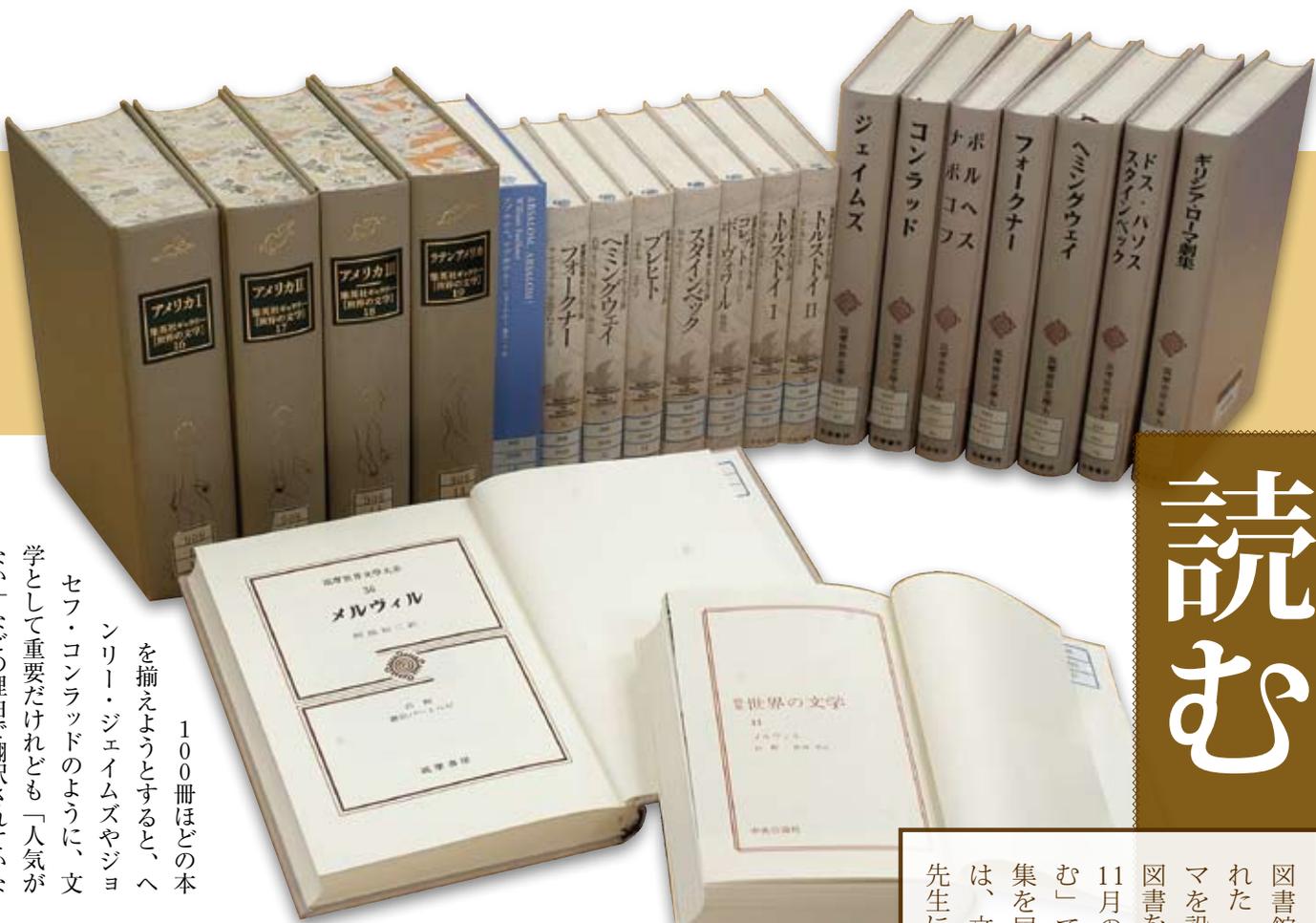
——『世界文学全集』として日本に紹介される際、翻訳という過程が入ります。そのメリット・デメリットなどはありますか？

**そ** うですね、当然、日本語で読むほうがずっと楽です。良い翻訳なら、作品の本質まで理解することができます。でも、文学全集の需要が高まるまでは、売れる作品しか翻訳されていませんでした。しかし、文学全集として

とても役に立ちます。文学の主人公は大抵暗く悩んでいますから(笑)。僕が思い入れのある全集の二つに『世界文学大系』(筑摩書房・全98巻)があります。学生の頃、「サテュリコン」というイタリア映画に感動して、原作を探したら『世界文学大系』の「冊」ギリシア・ローマ古典劇集」に入っていました。感激しましたね。こんな作品までも、すぐに日本語で読めるのは、ありがたいことだと。

それから『20世紀の文学』(集英社全38巻)という、伊藤整さんがメインで編集された全集があります。彼の企画に賛同した各分野のエキスパートが協力して、とても面白いものに仕上がっています。ラテンアメリカの文学が多く取り入れられていて、この全集で、南米文学に目覚めた人も結構いるんじゃないでしょうか。筑摩書房の先の『世界文学大系』に入っていない新しい作品や、あまり翻訳されていない国の文学が読めるので、一読の価値があると思いますよ。

——先生の経験や想いと一緒にお話をおうかがいでき、『世界文学全集』に対する関心が増しました。有意義なお話をありがとうございました。



1949年京都府生まれ。大阪市立大学大学院博士課程中退。京都大学博士(文学)。専門はアメリカ文学、比較文化。



100冊ほどの本を揃えようとする、ヘンリー・ジェイムズやセフ・コンラッドのように、文学として重要だけれども「人気がない」などの理由で翻訳されていなかった作品も、翻訳しないと追いつかなくなるんですね。原典で読める人は限られていますから、翻訳される作品が増えたことは、文学の底辺を広げることに大きな貢献を果たしたのではないでしようか。最近でも、村上春樹がレイモンド・カーヴァーの全集を翻訳したことで、カーヴァーが一般にもよく知られるようになりましたよね。

デメリットというのか、どうしても避けられない現実として、翻訳者の解釈の問題が挙げられます。辞典を引くと、一つの単語に5つも6つも意味がある。その中から一つの日本語を選ぶという行為は、他の意味で作者が書いた可能性を消すことになる。僕が書いた『グレートギャツビー』の読み方』は、そのことも指摘したものです。『白鯨』という作品には、現在10種類ぐらいの翻訳が出版されています。なぜなら、作者のハーマン・メルヴィルが英語を非常に主観的な使い方をしている

るので、その個性的な表現の意味を翻訳者がどう受け取るかで同じ単語でも解釈が変わってしまうからです。だから、この作品が好きなのは、他人の翻訳では満足できなくなる(笑)。「自分で翻訳しないと」かわせる、作品の魅力があるんですよ。そんなに売れるような生やさしい本ではないんですけどね(笑)。

——今、『世界文学全集』を読むことの意義について、また、お勧めの全集があれば教えてください。

**今** は、教養というものがちよつと軽んじられているところがあるように思います。でも、生きていくうえで迷った時、文学は、解決法を探す手伝いができると思うんですね。自分が何者なのか、どこから来てどこへ行くのか。その答えは文学の中に一番見いだしやすい。若い時には多くの希望を抱きます。それは逆かというと、不安定な部分、未知の部分が多いということでもあります。迷い、悩むのが青春時代ですから(笑)。迷った時、悩んだ時、みんなで騒いで、忘れるのもいいんですよ。しかし、根本的に解決するには、一人静かに現実と向き合うことが大切だと思います。そんな時、文学は

あなたは  
ビールのCMの  
バックに  
流れている曲を、  
ご存知ですか？

このコーナーでは映画をとおして、もう一度読んでみたい小説やノンフィクションを紹介します。



そう、J R 山手線「恵比寿」駅の発車メロディにもなっている、イギリス映画『第三の男』（1949年）のタイトルバックに使われた曲。

『第三の男』は、アメリカ、イギリス、フランス、ソビエト四カ国統治下の、第二次世界大戦後のウィーンが舞台となっています。監督はキャロル・リード、脚本はグレム・グリーンで、グリーンは後にこれを小説にしています。音楽はオーストリアの民俗楽器ツィター奏者アントン・カラス。さて、ここで映画のあらすじをご紹介します。

アメリカの売れない小説家ホリー・マーチン（ジョセフ・コットン）は、友人のハリイ・ライム（オーソン・ウェルズ）に仕事を紹介され、ウィーンにやってくる。駅に到着したホリーは、早速ハリイのアパートに向かうが、一足違いで彼は交通事故死。



“第三の男”  
ハリイ・ライム（オーソン・ウェルズ）

墓地での葬儀に参列したホリーは、イギリス軍のキャロウエイ少佐（トレヴァー・ハワード）に誘われ、酒場で友人ハリイが闇商人であったことを聞かされる。納得のできない彼は、帰国を勧めるキャロウエイ少佐

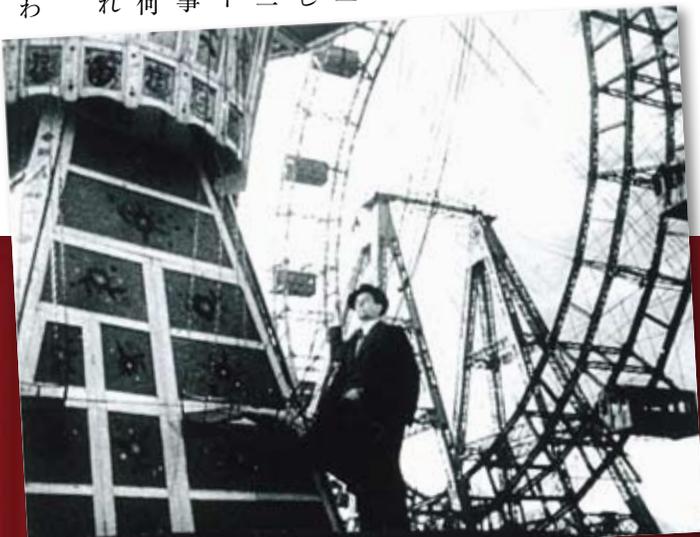
の忠告も聞かず、事故の真相を探ろうと、ハリイの友人と名乗るクルツ男爵やアパートの門番から事故の状況を聞くが、説明された内容に食い違いがあることに気づく。

そこでホリーは墓地で見かけたハリイの恋人アンナ・シュミット（アリダ・ヴァリ）を訪れ、二人してふたたび門番から目撃した様子を聞き、事故現場に「第三の男」がいたことを知る。ハリイの友人と称する男たちに、その事実を聞いただしていくなかで、何者かによって門番までもが殺されてしまう。

住民たちに門番殺害犯と間違われて夜の街を逃げるホリーとアンナ。アンナと別れて、ようやく逃げ切ったと思った束の間、今度はハリイの友人と名乗るルーマニア人がホリーを追ってくる。

キャロウエイ少佐に救いを求めたホリーに、彼はハリイが軍病院からペニシリンを盗んで売りさばいていた証拠を見せる。親友の悪事を知って失意のホリーは、アンナのアパートを訪れ、帰国することを打ち明けるが、その直後、とある家の戸口でアンナの飼った猫を見かける。近寄っていく彼が見たものは、夜の闇に照らし出されたハリイ・ライムの横顔だった。

キャロウエイ少佐とともにハリイを追うホリー、かたやアンナは四カ国軍からなる国際警察に、パス



観覧車下のホリー（ジョセフ・コットン）

ラストシーン。  
ホリーに目もくれず去って行くアンナ（アリダ・ヴァリ）



舞台となったウィーンは、当時占領下にあつて、緊迫した政治情勢や闇商人の暗躍などの事実を背景にしており、廃墟のなかに残っていたプラター公園の大観覧車は、この映画によりリアルさを与えているといえます。

そしてホリーはついにハリイを追いかける。ラストシーンは、ふたたびあの墓地、枯葉の散る並木道、声かけようとしたはずのハリイに目もくれず去ってゆくアンナ。

グレアム・グリーンは、この脚本をもとに1950年に小説『第三の男』を書いていますが、その序文に「『第三の男』は読んでもらおうためではなく、見てもらうために書いたものだ」と記しているとおり、60年たった今でも、まさに映画史上に残る名作と言えるでしょう。

映画と小説では設定が異なる部分もありますが、とくにグリーン脚本だと感じさせるのは、病院で闇ペニシリンの被害者のありさまを見てきたホリーが、自分の仲間にと誘うホリーに対して「神を忘れたか」と非難するところ。これに応えたホリーが「もちろん。今も信じてるさ。神も神の許しも全部信じてる」とうそぶく観覧車でのシーンの一面がここにも現れているといえます。

この作品が単なるサスペンスというだけでなく、ホリー・マーチンとホリー・ライムという対象的な二人の人物をおして、人間のあり方を問いつけているのではないのでしょうか。

さて、ここで主要キャストを紹介しておきましょう。

監督のキャロル・リードは、『落ちた偶像』（1948年）、『ハバナの男』（1960年）など、同じグレアム・グリーン脚本による作品のほか、ミケランジェロを描いた『華麗なる激情』（1964年）、チャールズ・ディケンズの『オリバー・ツイスト』が原作のミュージカルの映画化『オリバー』（1968年）でアカデミー監督賞を受賞。ちなみに『第三の男』ではカンヌ国際映画祭で、バルム・ドール賞を受賞しています。

ホリー・マーチンを演じたジョセフ・コトンは、

このコーナーで引用した小説『第三の男』は小津次郎氏の翻訳（『グレアム・グリーン全集』第11巻、早川書房・1979年）を使用しました。

また、映画のセリフはユニバーサル・ピクチャーズ・ジャパンから発売されている「STUDIO/CANAL」版の笠井絹子氏の翻訳字幕を使用しました。

写真クレジット  
写真協力（財）川喜多記念映画文化財団

『市民ケーン』（1941年）、『白昼の決闘』（1946年）、『ナイアガラ』（1953年）、『トラ・トラ・トラ』（1970年）、『エアポート77』（バミューダからの脱出）（1977年）といった作品に出演しています。が、珍しいところでは日米合作の特撮映画『緯度0度大作戦』（1969年）でしょうか。

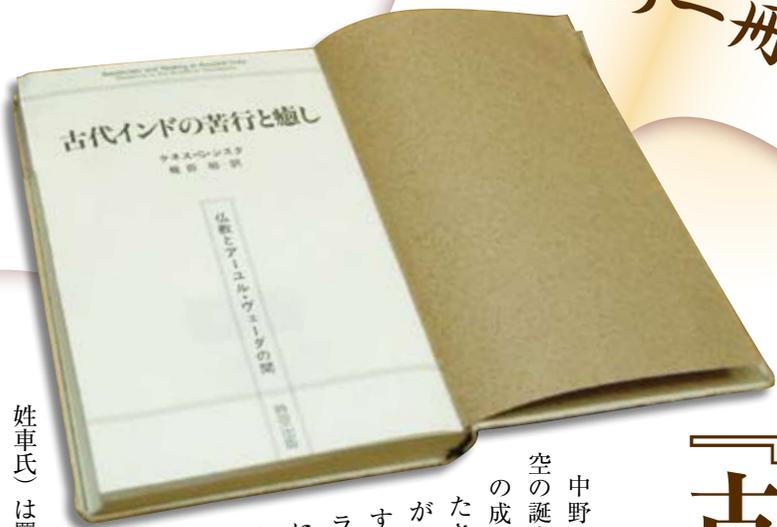
ホリー・ライムを演じたオーソン・ウェルズは俳優としてだけでなく、監督・脚本家としても有名ですが、『市民ケーン』では監督・製作・脚本・主演を務めており、この作品でアカデミー脚本賞を受賞しています。『第三の男』でも、ウェルズはホリーに非難されるシーンで、グリーン脚本にはない「イタリアはボルジア家の下、三十年苦しんだが、ダヴィンチやルネッサンスを手に入れた。スイスは友愛の国で、民主主義と平和が続いている。でも何を生んだ？ ハト時計さ」というセリフを付け加えています。

最後に少し余談をしておきましょう。この映画『第三の男』には、英国公開版と米国公開版があり、ナレーションが異なっています。見比べてみるのもいいかもしれません。

また、イギリス軍のキャロウェイ少佐の部下ベイ・ン軍曹に、後に007シリーズのボスマン役で出演するバーナード・リーが扮しているほか、助監督を務めたガイ・ハミルトンも、後年007シリーズやアガサ・クリステイ作品を監督していることが注目できる場所です。

今回ご紹介した『第三の男』は、グレアム・グリーン原作、そして映画ともに図書館に所蔵していますので、あなたもぜひ一度読んで、観てみませんか。

先生が選んだ  
この一冊



# 『古代インドの苦行と癒し』

中野美代子著「孫悟空の誕生」には『西遊記』の成立に影響を与えたさまざまな文献が挙げられています。19世紀末にフランスの東洋学者によって欧米にも紹介された実在の僧悟空の伝記もその一つです。唐玄宗の遣西域使に随行した悟空（俗

姓車氏）は罽賓国で重患に罹り、一人かの地に留まり加療。平癒したならば出家せんと病中発願どおりタルマ・ターツ（唐名「法界」「空」の同義語）という名の高僧となり、やがて困苦の旅路を経て帰国、仏典翻訳に従事するのです。私は悟空の重病を救ったのは仏教サンガの医療と看護であった

と推測するのですが、それを間接的に支持してくれそうなのがこのオーストラリアのインド学者の研究書です。

本書は古代インド社会において科学的な医学の道筋をつくったのが仏教サンガとアーユル・ヴェエダの医療であったこと、仏教サンガはその医療と看護の技を教団内だけでなく一般住民にも提供していたことなどが、多様な文献と史料を駆使して明らかにされています。仏典は仏・法・僧の三宝のほ

造出版）を合わせて読んでみてください。なお、本書のあとがきには、翻訳者故梶田昭氏（元東京女子医科大学教授）が、当時佛教大学通信教育部で仏教を学びながら、翻訳を進められていたことが記されています。

著者：ケネス・G・ジスク（梶田昭 訳）

目次

第一部 古典インド医学の発展
第1章 インド医学のあけぼの一呪術と宗教による癒し
第2章 異端としての苦行と経験・合理医学の勃興
第3章 医療と仏教団制
第4章 仏教に伴ったインド医学の伝播
第二部 初期仏教団の医療
第5章 薬物（マテリア・メディカ）
第6章 癒しはどのように行われたか—疾病誌より

発行：時空出版

遺西域使に随行した悟空（俗姓車氏）は罽賓国で重患に罹り、一人かの地に留まり加療。平癒したならば出家せんと病中発願どおりタルマ・ターツ（唐名「法界」「空」の同義語）という名の高僧となり、やがて困苦の旅路を経て帰国、仏典翻訳に従事するのです。私は悟空の重病を救ったのは仏教サンガの医療と看護であった

と推測するのですが、それを間接的に支持してくれそうなのがこのオーストラリアのインド学者の研究書です。



とうとうとして  
藤堂俊英先生  
（仏教学部長）

和歌山県生まれ。佛教大学仏教学部教授、同附属幼稚園前園長。知恩院浄土宗学研究所助手、浄土宗尼僧道場講師、看護専門学校非常勤講師等を経て現職。専門分野は浄土教思想。共著に「仏教とターミナル・ケア」（法蔵館）などがある。



10月

### 能・狂言の世界

今年で第4回を迎える「わくわく狂言」にちなんで、能と狂言に親しめる図書資料を展示します。観阿弥、世阿弥によって大成された能、その間にあって「せりふ」と「しぐさ」によって観客を思わず笑わせる狂言の魅力に、あなたも一歩近づいてみませんか。より能・狂言に興味のある方、詳しく学んでみたい方にお勧めの特集です。



#### わくわく狂言

開催日時 10月21日(木) 17時半 開場  
18時 開演

会場 常照ホール(成徳常照館5階)

演目 「蚊相撲」「鐘の音」「水掛聲」



「水掛聲」

11月

### 世界文学全集を読む

昭和30年代から40年代にかけて、日本では多くの世界文学全集が刊行されました。古今東西の著名な作家の名作をまとめて読むことができます。これが世界文学全集のいいところです。えっ、こんな作品があったの？ もう一度読んでみたかった、そういう出会いがきつとある。文学で世界をめぐる旅へ、あなたを誘います。



12月

### 江戸随筆の世界

近世文学というと芭蕉、西鶴、近松や(上田)秋成などを思い浮かべる方も多いでしょうね。ここにご紹介するのはそういった誰でも知っている作品ではなく、大名、幕臣から学者、医者や絵師、役者まで、さまざまな人々が記した随筆の数々です。また、一味ちがった江戸時代を愉しむことができ、ちょっと目からウロコの知識(?)も増えますよ!!



## お知らせ

イベント

### あなたも選書ツアーに参加してみませんか！ —平成22年度秋期「選書ツアー」参加募集—

～図書館の本棚にあなたの選んだ本が並びます～

「選書ツアー」とは、図書館に蔵書する本を、あなたの目で選んで、推薦することができるツアーです。図書館では、みなさんが希望する本のリクエストを館内のエコーボックスやWeb上で受け付けていますが、「選書ツアー」は市内の書店で、現物の図書を手に取って選んでいただく企画です。



#### ●開催概要

日時 10月13日(水) 15時～17時

場所 大垣書店 京都駅前店

イオンモール京都 Kaede 館2階

京都駅八条口より徒歩5分 新都ホテルとなり

TEL 075-692-3331

※現地へは大学よりバスを運行、現地解散

対象者 大学院生・学部生(通学・通信含む)新入生も大歓迎!

定員 20名(先着順)

数量 1人あたり5冊以内

購入後 図書館1階展示コーナーに「私が選んだ本」として展示・貸出しをします。

#### ●参加申込

現在、平成22年度秋学期の参加者を募集しています。

参加ご希望の方は、**10月6日(水)15時**までに図書館1階総合カウンターでお申し込みください。みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

■貸出冊数・期間

通学課程の学生

借りたい資料に、学生証（履修生証、研究員証、研究生証）を添えて手続きを行なってください。

貸出対象	冊数	期間	更新	予約
学部生(1・2・3回生)、別科生、科目履修生	5冊	15日	1回	5冊
学部生(4回生以上)、大学院生、研究員、研究生	20冊	30日	1回	5冊

通信教育課程の学生

借りたい資料に、学生証（受講証）または図書館利用カードを添えて手続きを行なってください。

貸出対象	冊数	期間	更新	予約
学部生(本科1・2・3回生)、課程本科生、科目履修コース生、本科入学資格コース生、教養講座生	5冊	30日	不可	5冊
学部生(4回生以上)、大学院生	20冊	30日	1回	5冊

※来館しなくても図書の貸出しができます(送本貸出制度、「学習のしおり」参照)。着払い(500円、沖縄は600円)の宅配便にて送付しますので、受取る際に料金をお支払いください。

佛教大学専任教職員

借りたい資料に、身分証(職員証)を添えて手続きを行なってください。

冊数	期間	更新	予約
30冊	90日	1回	5冊

■図書館利用カード

●申込方法

身分証明書(通信教育課程の方は学生証)を持参し、「図書館入館届」に必要事項を記入の上、総合カウンターに申し出てください。

※通信教育課程の方は、来館以外に郵便またはFAX、インターネットで手続きできます。

※「図書館入館届」は図書館入館ゲート横に置いています。

佛教大学卒業生

身分証明書を持参し、「図書館入館届」に必要事項を記入の上、総合カウンターに申し出てください。申請日当日のみ有効の「図書館利用証」を発行します。

冊数	期間	更新	予約
10冊	15日	不可	不可

浄土宗僧侶・「縁カード」をお持ちの方

身分証明書を持参し、「図書館入館届」に必要事項を記入の上、総合カウンターに申し出てください。申請日当日のみ有効の「図書館利用証」を発行します。

冊数	期間	更新	予約
10冊	15日	不可	不可

佛教大学非常勤講師

借りたい資料に、図書館利用カードを添えて手続きを行なってください。

冊数	期間	更新	予約
10冊	60日	1回	5冊

他大学・研究機関等の学生・教職員

貸出：不可

閲覧：所属機関発行の紹介状および身分証明書を持参し、総合カウンターに申し出てください。

一般(社会人)の方

貸出：不可

閲覧：身分証明書を持参し、「図書館入館届」に必要事項を記入の上、総合カウンターに申し出てください。申請日当日のみ有効の「図書館利用証」を発行します。

貸出期間を守ってね



■開館時間

	授業開講期間	授業開講期間外	通信教育課程夏期スクーリング期間	通学課程定期試験期間 (試験開始1週間前から終了日まで)
月～土	9:00～20:00	9:00～17:00	8:30～21:00	9:00～21:00
日祝日	9:00～20:00	休館	8:30～17:00	

※事情により開館時間を変更する場合があります。

■休館日

- ・通学課程、通信教育課程の学務行事がない日祝日
- ・創立記念日
- ・月例休館日(通学課程定期試験開催月を除く)

- ・蔵書点検期間
- ・年末・年始
- ・法定点検日

※事情により臨時に休館する場合があります。

■入館・退館方法

●入館方法

入館ゲートのカードリーダーにカードを通して入館してください。

通学課程在籍生 (科目履修生)	「学生証」(「履修生証」)
研究員、研究生	「研究員証」、「研究生証」
通信教育課程在籍生 卒業生、非常勤講師、 学外の方	「図書館利用カード」
専任教職員	「身分証明書」



●退館方法

退館ゲートを通ってください。貸出手続きをしていない資料を持って出た場合、警報ブザーが鳴り、ゲートは開きません。警報ブザーが鳴った際は、確認にご協力ください。



詳しくは図書館ホームページをご覧ください

## 佛教大学図書館ポータルサイト 図書館だって、バーチャルなんだ

## 佛教大学図書館 HP も活用しよう！

<http://bulib.bukkyo-u.ac.jp/docs/libportal/libtop.htm>

<http://www.bukkyo-u.ac.jp/lib/index.html>

バーチャルな図書館って、想像できるかな？  
図書館の Web 上には、もうひとつの図書館が広がっている。その玄関が「佛教大学図書館ポータルサイト」。ここを利用すれば、気軽にデータベースを使ったり、「電子ジャーナル」って言われる Web 上で読める雑誌にアクセスできるんだ。大学のパソコンからしか、使えない機能もあるけれど、きっとレポートを書くときも大活躍するはず。ぜひ上の URL からアクセスしてみてね！



### 不正アクセスに注意！

「不正アクセス」って言葉は何か響きが怖いよね。電子ジャーナルやデータベースのサイトには使い方の約束事がある。だから、それを守らないと不正アクセスとして、ペナルティが課せられる場合があるんだ。一人のために大学全体が電子ジャーナルの利用停止処分を受けないように、これから言うような内容は必ず守って！

- ①データベースや電子ジャーナルのファイルをまとめてダウンロードしないで！
- ②データベースや電子ジャーナルのファイルを、内容を確認せずに、短い時間に次々と開いたりしないで！



を、内容を確認せずに、短い時間に次々と開いたりしないで！



OPAC  
(蔵書検索)  
※ P18 参照

図書館ポータル  
サイト  
※ P17 参照

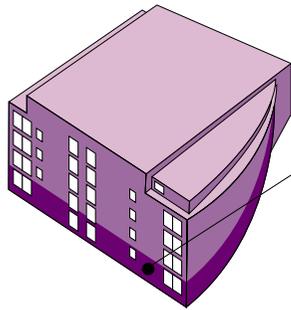
図書館ニュース  
(図書館電子ジャーナル  
[E-Lynzo] にリンク)

E-Lynzo

開館日程

電子資料庫  
(貴重書画像データ  
ベースほか)

図書館案内



1階から始めよう、知的冒険の旅



最初の一歩

図書館って、ちょっと入りにくいって思いませんか？  
入館ゲートに学生証を通すだけでいいですよ。\*  
あなたが本を読みたいと感じたとき、それが最初の一歩です。



おしゃべりは厳禁

図書館は試験勉強だけをする場所ではありません。  
静かに本を読むのもいいでしょう。  
じっと思索にふけるのもいいんじゃないでしょうか。  
でも、友達とおしゃべりするのはやめましょう。



まずは1階から

だけど、どこから始めればいいの？  
そう、まずは1階から始めてみませんか。  
1階には文庫や新書が揃っていますから、  
自分の興味のあるものから、手にとってごらん下さい。  
そこから、あなたの知的冒険の旅が始まるのです……。



図書館1階の文庫・新書コーナーには、学生用基本図書として岩波文庫、岩波新書、中公新書、講談社現代新書、ちくま新書などが配架されています。平成22年度からは教育後援会のご支援を受けて、講談社学術文庫、ちくま学芸文庫、平凡社ライブラリー、NHKライブラリー、岩波現代文庫、光文社古典新訳文庫などを新たに整備しています。これらの中には学術論文集を文庫化したものや、古典的名著も収録されています。講義の空き時間や、ちょっと余裕のあるときに、気軽に立ち寄ってみてください。きっとステキな一冊と出会えることでしょう!!

\*通信教育課程の在学で、初めて図書館を利用される方は、入館ゲートの前で「図書館入館届」をご記入の上、1階総合カウンターで「学生証（あるいは受講証）」を提示して、「図書館利用カード」の発行手続きをしてください。次回からこのカードを入館ゲートに通してください。

HP 活用法

Let's OPAC !

[http://bulib.bukkyo-u.ac.jp/opac/opac\\_search.cgi](http://bulib.bukkyo-u.ac.jp/opac/opac_search.cgi)

図書館の本探しには、OPAC（オーパック）。みんなもう使ってるかな？  
操作はカンタン！ キーワードを入れて検索をかけるだけ。家やケータイからもアクセスできるスグレモノ。さあ今すぐ Let's OPAC !!



キーワードを入力



検索ボタンをクリック



# 開館カレンダー



【開館時間】 9:00 ~ 20:00 ● 9:00 ~ 17:00 ● 15:00 ~ 17:00 ● 15:00 ~ 20:00

## 10月

1 (金)
2 (土)
3 (日) 休館日
4 (月)
5 (火)
6 (水)
7 (木)
8 (金)
9 (土)
10 (日)
11 (月)
12 (火)
13 (水) 秋期選書ツアー
14 (木)
15 (金)
16 (土)
● 17 (日)
18 (月)
19 (火)
20 (水)
21 (木)
22 (金)
23 (土) 休館日
24 (日)
25 (月)
26 (火)
27 (水)
28 (木)
29 (金) 休館日
● 30 (土)
31 (日) 休館日

## 11月

1 (月)
2 (火)
3 (水) 休館日
4 (木)
5 (金)
6 (土)
7 (日)
8 (月)
9 (火)
10 (水)
11 (木)
12 (金)
13 (土)
14 (日)
15 (月)
16 (火)
17 (水)
18 (木)
19 (金)
20 (土)
21 (日)
22 (月)
● 23 (火)
● 24 (水)
● 25 (木)
● 26 (金)
27 (土)
28 (日)
29 (月) 休館日
30 (火)

## 12月

1 (水)
2 (木)
3 (金)
4 (土)
5 (日)
6 (月)
7 (火)
8 (水)
9 (木)
10 (金)
11 (土)
12 (日)
13 (月)
14 (火)
15 (水)
16 (木)
17 (金)
18 (土)
19 (日)
20 (月)
21 (火) 休館日
22 (水)
23 (木)
24 (金)
25 (土) 休館日
26 (日) 休館日
27 (月) 休館日
28 (火) 休館日
29 (水) 休館日
30 (木) 休館日
31 (金) 休館日

**後記** 季刊『Lynzo』vol.1をお届けします。図書館報『常照』をリニューアルし、季刊『Lynzo』と名称も改めました。これは「輪蔵だより」として発行していた図書館月報の名称をアレンジしました。輪蔵とは、仏教の教えをまとめた一切経を納める経蔵の一種で、八角書架の中心に軸をいれて回転するようにしたもので、転輪蔵ともいいます。



季刊『Lynzo』vol.1

平成 22 年 10 月 1 日発行  
 編集・発行 佛敎大学図書館  
 〒 603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96  
 TEL 075-491-2141(代) FAX 075-491-9042  
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/lib/index.html>

## イベント報告

### 新コーナーを開設しました

#### 特集コーナー

図書館では、4月より1階カウンター横に「特集コーナー」を設けました。「特集コーナー」では毎月テーマを設定し、関連する図書を蔵書から選んで展示・貸出しできるようにしています。



#### 新着コーナー

同じく1階に新着コーナーを設け、図書館が新たに収書した図書資料の整理ができ次第、それぞれの分野の書架にではなく、このコーナーに配架します。新刊書ですぐに読みたいと思った本や、リクエストした本がある場合は、まずこのコーナーをチェックしてください。



#### 「私の選んだ本」展示コーナー



さる6月9日(水)、ジュンク堂京都BAL店のご協力で「平成22年度春期選書ツアー」を開催し、1階カウンター横に、参加のみなさんによる推薦文とあわせて選ばれた本を展示しました。なお、春期は学生10名の参加者があり、48冊の本が選ばれました。

## 資料展示企画報告

### ● 6月の特集

#### 「京洛学遊—京に学び、都に遊ぶ—」

佛敎大学が位置する「京都」は、古代から近代まで、日本の中心であり歴史や文化の中心でもありました。「京都を学ぶことは、日本の歴史と文化を理解すること」をテーマに、『都名所図会』、『山城名勝志』や『雍州府志』などを収録した『京都叢書』をはじめ、考古学、歴史学、民俗学や文学、芸術など、様々な分野から京都にアプローチできる図書を展示しました。

### ● 7月の特集

#### 「世界の古典を読む」

「混迷する現代社会を生き抜く智慧を世界の古典のなかから発見してみませんか？」というテーマのもと、ギリシア哲学や喜劇、悲劇、インドの古典や原始仏典、中国の代表的古典や思想家の著述、旧・新約『聖書』や『コーラン』をはじめとしたイスラム思想、日本を代表する『古事記』『日本書紀』や『源氏物語』まで、世界を代表する古典を展示しました。

### ● 8月の特集

#### 「幕末・維新を考える—動乱の時代を駆け抜けた男たちがいた!!—」

「テレビドラマだけではわからない、動乱の時代を史実から探る」をテーマに、『吉田松陰全集』、『防長回天史』、『勝海舟全集』、『土佐維新資料』などの史料をはじめ、幕末維新期に関する研究書、マリアス・ジャンセン著『坂本龍馬と明治維新』や、新選組研究の基本文献である子母澤寛著『新選組始末記』、平尾道雄著『定本新撰組史録』、永倉新八著『新撰組顛末記』、史伝文学として有名な大仏次郎著『天皇の世紀』、海音寺潮五郎著『西郷隆盛』を展示しました。